

1 実践

1 「思いやりの木」の実施（各学級）

季節に合わせたイラストの形に切り抜いた画用紙に生徒が見つけた他の生徒の良い行いや感謝の言葉などを書き、教室内に掲示した。生徒が互いの良さを認め合うことで自己有用感の向上に努め、他者理解の深化を図った。この活動により生徒同士が率先して他者の良いところを見つけ、互いに認め合おうという姿勢が見られてきた。

2 いじめストップフォーラムの実施

令和元年度は、人権の課題と深く関係のある「いじめ」に焦点を当て、学校全体でいじめについて考え、意見を深め合う集会を行った。また、スローガンの考案などを通して、各クラスや各学年でいじめについての話し合いを行った。その結果、生徒がいじめは人権を著しく侵害する行為であるという認識をもち、いじめは絶対にしてはならないという理解を深めることができた。

今年度は、「公正・公平、いじめの防止」に関する生徒の心を育むことをねらいとして、全校道徳という形式で同じ時間に各学級において、同じ授業内容でいじめストップフォーラムを実施した。授業では、生徒会長が本フォーラムに関する趣旨を放送することから始まり、YouTube 動画「差別のない世界へ」（全国中学生人権作文コンテスト入賞作品）の視聴及び今年度のいじめ撲滅スローガンの発表を行い、一人一人が人権意識を高める授業を行った。

3 人権メッセージへの応募（全校生徒）

全校で身近なところにある人権に関する体験や思いをメッセージにして、県主催の「人権メッセージ」へ応募した。メッセージを書くに当たっては、生徒が日頃感じている相手の思いやること、お互いに個性を認め合うこと、差別や偏見に対して感じていること、自分の人生で大切に思っていること等をメッセージとして書き起こせるよう各担任が学級指導を行った。身近で起きている様々な出来事を人権という視点から見ることで、自分の大切さとともに、他の人も大切にしようとする思いを高めることができた。

4 人権教室の実施（第1学年）

日常生活に潜む「いじめ」という行為について、「言葉」とその意味の重さや「命の大切さ」に気付く、自分たちに何ができるのかを考える機会を設けた。また、スマートフォン等におけるSNSを通しての友人とのやりとりについて理解を深めた。

5 「心の賞賛状」の実施

教師が生徒の良いところを見つけ、そのたびごとに表彰を行ってきた。教師が生徒の思いやりのある行動を見つけ、称賛することで自己肯定感を高めることができ、他者を思いやる行動が増えている。

6 教職員の人権教育への意識の啓発

職員研修の中では、人権教育に対する意識を確認するチェックリストや「人権教育実践事

例集」などを活用して、教職員の人権意識の深化を図った。また、人権教育指導方法についても工夫が図られるように教職員間の意見交換を行う場の設定を行った。

併せて、毎週の週案の中に人権コラムを掲載し、人権教育に関する研修を行う機会を設けた。こうしたことにより、職員間での人権教育に関する話題が増え、生徒の人権に対する教職員の意識の高揚につながっている。

7 自己肯定感を高めることをテーマにした道徳の授業実践（学校課題研究への取組）

自己肯定感を高めることをテーマとする道徳の授業実践を学校課題研究として、研究主任を中心に全職員で取り組んでいる。年間 35 時間の授業時間の確保（コロナウイルスの影響で休校期間がある中でさえも）、各学期に校内授業研究会の実施、担任以外が道徳の授業を行うローテーション授業等の実践を行った。学校課題研究に位置付けることで、全職員が意欲的に取り組み、授業力を高めてきたことで、毎週の道徳の時間をより充実させることができた。こうしたことにより、生徒の自己肯定感を高め、学校全体での人権意識の啓発を行ってきた。

8 成果

こうした取り組みにより、人権に関する問題が生徒自身の身近な生活の中に多く存在していること意識することに繋がっている。「人権」と聞き、大切なものであるとは分かりながらも、その言葉の指す意味を明確には理解していない生徒が多いかもしれない。しかし、毎週行われる道徳の授業を中心としながら、様々な実践を通して、本校生徒は「命を大切にすること」や「他者の気持ちを考え、級友などと気持ちの良い生活を送ること」の重要性を良く理解していると感じている。今後も教職員一丸となって、人権教育の推進に向けて、様々な教育実践を行っていききたい。

II 今後の課題

人権教育の目標と内容を検討し、それらを各教科・道徳・特別活動等のそれぞれの特質に応じて年間指導計画に位置づけ、教育活動全体を通して指導の充実努める。

III 人権コーナーの設置の様子



日高中学校の人権コーナー

（いじめストップフォーラムのスローガンを掲示）

令和2年度スローガン

「自分も完璧じゃないのに、人を傷つけ笑ってる。
それって何が楽しいの？」